

画期的新薬創出の加速のため、 産官学は各々いかなる機能を果たすべきか

後援：内閣府 厚生労働省

産官学の
新たな連携により
道を拓く!!

2014年
5月24日(土)
13:30~17:00

全社協・灘尾ホール
(新霞が関ビル内)

入場無料

お申し込み方法は
裏面をご覧ください

TIME SCHEDULE

13:00 開場、受付開始

13:30 開会挨拶

▶ 江利川毅 (医療科学研究所理事長)

13:35 座長趣旨説明

▶ 白神 誠 (日本大学薬学部教授/医療科学研究所理事)

13:40 基調講演 <各20分>

▶ 菱山 豊 (内閣官房健康・医療戦略室次長)

▶ 渋谷健司 (東京大学大学院医学系研究科教授)

▶ 野木森雅郁 (アステラス製薬(株) 代表取締役会長)

14:40 パネリスト講演 <各10分>

▶ 近藤達也 (医薬品医療機器総合機構(PMDA) 理事長)

▶ 成宮 周 (京都大学大学院医学研究科特任教授)

▶ 梅田一郎 (ファイザー(株) 代表取締役社長)

15:10 休憩

15:25 パネルディスカッション

基調講演者及びパネリスト講演者登壇

17:00 閉会挨拶

▶ 戸田健二 (医療科学研究所専務理事)

→ 開催趣旨

生命科学や情報通信技術など、科学技術の進歩は新しい世界を切り開いています。特に医療の分野においては、画期的な新薬の創出や医療技術の開発に大きな期待がもたれています。この期待を現実のものとするためには、時代に即した産官学の新たな連携が必要であります。

政府は、わが国の基礎科学研究を展開して世界最先端の新薬や医療技術の開発を促進し、あわせて、健康・医療分野に係る産業を戦略産業として育成しようと、関連予算や制度面での対応を進めています。

医療科学研究所は、このような流れを踏まえつつ、産官学の連携について微力ながらお役に立ちたいと考え、様々な活動を行っております。その一つとしてシンポジウム事業があり、昨年5月に「医療イノベーション推進への期待と課題」をテーマにシンポジウムを開催しました。今年は、昨年の議論を掘り下げて、「画期的新薬創出の加速のため、産官学は各々いかなる機能を果たすべきか」というテーマで、開催することといたしました。

登壇者には、この問題を討議していただくのにふさわしい方を、産官学からそれぞれ2人ずつお願いしました。

官からは、安倍内閣の下で健康・医療戦略を推進している菱山豊健康・医療戦略室次長、医薬品・医療機器の審査経験を踏まえ有望シ

ズの出口作戦の役割が期待されている PMDA、その総責任者である近藤達也理事長。

学からは、政府の「医療分野の研究開発に関する専門調査会」でも意見を述べられ、また、グローバルな視点での健康問題に造詣の深い東京大学の渋谷健司教授、文部科学省の補助制度を活用しながら、製薬メーカーと連携して創薬研究を進める、京都大学におけるそのプロジェクトの執行責任者である成宮周特任教授。

産からは、創薬をまさに実践している内外の二つの会社、アステラス製薬株式会社の野木森雅郁代表取締役会長と、ファイザー株式会社の梅田一郎代表取締役社長。

当シンポジウムの目的は、結論を出すことよりも、上記テーマを達成するための課題を産官学から出し合い、課題認識を共有し合うことにより、その成果をそれぞれの立場で今後の実践に生かしていただくことにあります。

登壇者のみならず、ご出席の皆様からも積極的な情報提供と、忌憚のない意見交換をしていただくことを期待しております。

日本大学薬学部教授／医療科学研究所理事
白神 誠

→ 発表テーマ

基調講演

- 菱山 豊 「医療の研究開発に関する政策について」
- 渋谷健司 「医療ビッグバンを起こすためには」
- 野木森雅郁 「最近の創薬におけるパラダイムシフトと、シフトに対応した産官学連携」

パネリスト講演

- 近藤達也 「世界に先駆けた日本発の革新的な製品の実用化に向けたPMDAの挑戦」
- 成宮 周 「新薬創出のための双方向性産学連携～AKプロジェクトの経験から～」
- 梅田一郎 「イノベーションを加速する為のドライバーオープンイノベーション」

→ 開催日時・会場

開催日時

2014年5月24日(土) 13:30～17:00

開催会場

全社協・灘尾ホール

東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビルLB階
TEL: 03-3580-0988

- ▶ 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」5番出口より徒歩5分
- ▶ 地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩7～8分
- ▶ 地下鉄千代田線／丸の内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分

お申し込み方法

ホームページ(右QRコード/下URL参照)から参加をお申し込みください。電子メールにて登録票を送付いたしますので、シンポジウム当日に受付にご提示ください。

※定員に達した場合は、お申し込みを終了させていただきますので、予めご了承ください。

※お申し込みいただいた個人情報は適切に管理し、登録票の発送と運営事務局からのご連絡以外の目的では使用いたしません。

ホームページ <http://www.iken.org/>

お申し込み締切 2014年5月16日(金)



会場MAP

